沖永良部島の周産期医療の充実に関する陳情書

沖永良部徳洲会病院の産婦人科が今年４月から、産科医の高齢化に伴い分娩業務を休止する方針を決定しました。現在も病院側は新しい産科医を確保するため懸命に誘致活動を展開しているようですが、早期に業務を再開できるかどうかは不透明な現状にあります。同院産婦人科で出産できなくなると、多くの産婦が経済的・精神的負担の大きい島外出産を余儀なくされます。

全国的にも合計特殊出生率が高く、日本でも有数の「子育てしやすい環境」が整っている沖永良部島ですが、島内出産ができなくなることは、「島で産み」「島で育てる」という当たり前の営みを根底から崩してしまいかねない重大な問題です。

今回私たち「島の産声を守る会」は、現在妊娠中あるいは今後出産を検討している母親たち、子育て中の母親たちの切実な声を届けるとともに、同院産婦人科の分娩業務の早期再開に向けた行政側の支援を要請するため、署名活動を展開しています。赤ちゃんの元気な産声を守るため、ご賛同くださるようお願いします。

島の産声を守る会
代表　松瀬　珠美